



514号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



第3回検数労連16夏季一時金交渉 スト権高率で確立！ 両協会は従業員の満足度を上げるべく、要求に沿った回答を！

〈16夏季一時金スト権 全国集約結果〉

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全国	夏季一時金	714	11	4	9	738
	諸要求	702	10	16	10	738
	国民的課題	691	34	4	9	738

16夏季一時金スト権集約結果について
6月30日～14日までの集約期間とした『16夏季一時金スト権』について、中央集約を行った結果、左記のとおりとなりました。
全国投票総数738票中、16夏季一時金要求項目では賛成票714票、諸要求702票、国民的課題691票となり、各項

目において賛成票が93%以上で16夏季一時金スト権を高率で確立しました。
この結果は、16夏季一時金に対する組合員の強い期待のあらわれであり、要求獲得に向けた全国集約の結果であると認識しています。
組合員全員の方で、一時金要求獲得に向けて頑張りましょう。

《第3回夏季一時金交渉》

93%以上の賛成票を受け、開催された第3回検数労連16夏季一時金交渉では、両協会より有額回答に対する考え方の披瀝を求めました。

【日検協会】

有額回答に向けた考え方として、平成27年度事業収益については自動車関係では順調に推移したものの、鉄鋼関係、コンテナ関係の落ち込みがあった。事業費については季節的要因(時間外・研修費等)により前期比よりマイナスとなっているが、平成26年度事業収益と比較すると平成27年度は落っており、厳しい状況である。
一時金の回答に対する考え方は、有額回答に向け現在鋭意検討中であるが、基本的な考え方は(一時金は賞与の配分)との考え方に変わりはしない。

【全日検】

平成27年度収支は対予算費、対前年費でも若干の落ち込みがある。原因としては既存業務(コンテナ・鉄鋼・青果)の落ち込みが大きい。これまでは既存業務の落ち込みを検査業務で補ってきたが、今後を見据えて検査業務にも不安が残る。
一時金の回答に対する考え方は、有

額回答に向け現在鋭意検討中であるが、基本的には従来通りの回答構築を考えている。16春闘で職員A・Bの賃金是正を行ったが、今一時金では勤続年数を考慮し、職員A・Bの一時金回答に格差をつける考えである。
【組合主張】
組合は両協会から、一時金回答に対する考え方を聞いた上で、次のとおり主張を行いました。

【日検協会に対して】

下期の状況説明を聞いたが、各現場の忙しさは変わっていない。そう言ったことでは従業員の日頃の労苦に見合った一時金回答の構築を求める。

【全日検に対して】

我々の要求では職員A・B同一回答を求めている。そういったことから、計算期間等があっても同一の回答を提示するべき。また、回答で不透明な部分(特別評価・都市調整等の業績回答)を無くし、本体部分に配分するべきである。

7月10日参議院選挙投票日 選挙に行つて政治を変えよう。

7月10日投票で行われる参議院選挙は安倍政権に国民の厳しい審判を下す重要な選挙です。
自公維新三党は5月31日、野党4党提出の内閣不信任案を否決しました。翌6月1日、安倍首相は記者会見で消費税10%への引き上げを2019年10月まで再延期することを表明しました。同日、国会は閉幕、7月10日投票の参議院選挙がたたかわれま

す。今度の選挙の最大の争点は戦争法の廃止、「明文改憲」を許さず、安倍「暴走」政治をやめさせ、政治を国民の手に取り戻すことです。同時に憲法を守り、国民のくらしと雇用、日本の未来を切り拓いていく歴史的な国政選挙です。組合員一人ひとりが職場や地域、そして家族で大いに政治を語り、選挙権を行使し、政治を変えていきましょう。

**※次回交渉
第4回検数労連16
夏季一時金交渉
6月27日(月)
10時～
有額回答指定日につき、組合員及び地域闘争委員会は注目！**

【両協会に対して】
両協会は要求に基づいた回答ができる環境にあると考えている。
まず、顧客満足度を上げる前に、従業員の満足度を上げる方が先であり、両協会は努力すべき。
賃金の後払いという意味では、今夏季一時金は重要なものと考えている。両協会の状況は、一定理解しているものの、従業員のモチベーションを上げるためには一時金の大幅アップは必要であり、人が財産の両協会において、その価値を見出させるためには要求に沿った一時金回答を求める。